

◆ 動的座位バランス計測装置の特徴

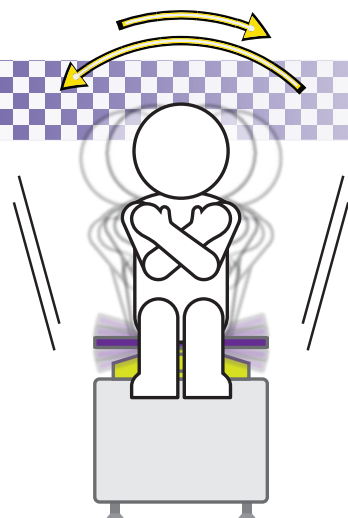
椅子型で座面が左右に連続揺動する仕組み。利用者は揺れる座面に座り自身の体幹を意識しながら数秒間計測します。計測後には体幹（重心）の振れ幅が表示されます。定期的な計測で体幹バランスの変化を経時的に可視化できます。

● 動的座位バランス計測

右左に揺れるセンサープレート（座面）に座った状態で座位でのバランスを計測できます。

< 利用例 >

- ① 年齢や障害によるバランス機能低下の計測
- ② バランストレーニング効果



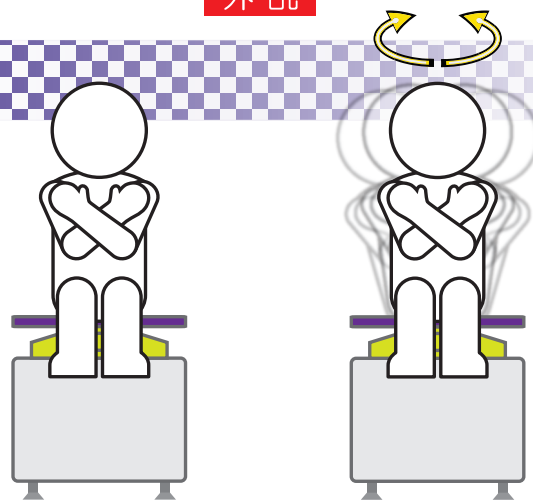
外乱

● 静的座位バランス計測

静止状態のセンサープレート（座面）に座った状態で座位バランスを計測します。

< 利用例 >

- ① 平衡機能障害などによる「めまい」を感じたりする人のふらつきの計測
- ② 体幹保持能力の計測
- ③ 複合動作の最大可動域の計測



複合動作

● 静的立位バランス計測

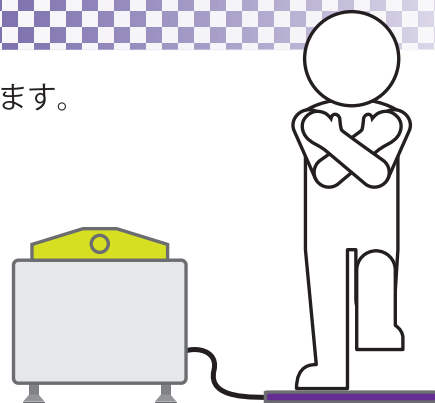
センサープレート（座面）に立った状態でのバランスを計測できます。

※センサープレートを外し、床に置いた状態で計測します。

（センサープレートは容易に脱着が可能です。）

< 利用例 >

- ① 両脚立ち状態でのバランス計測
- ② 片脚立ち状態でのバランス計測



● その他の利用例

- ① 服薬による体へのバランス影響の計測